

教育相談部だより 第8号



教材・教具紹介の紹介～「自立活動」～

本校で主に自立活動の時間において使用している教材・教具の紹介です。

自立活動は、各教科等の学習が十分できる状態をつくること、各教科の基盤となる力を育てることを目的とした指導領域です。特別支援学校の他に、特別支援学級や通級による指導の場においても設定されています。

自立活動の内容は、「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の6区分に分類されています。児童生徒一人一人の障害の状態や発達 の程度等に応じて目標を設定し、学習をしています。

「教育相談部だより 第8号」で紹介する教材は、市販されており、ご家庭で気軽にできるものも ありますので、休日等、使ってみられてはいかがでしょうか。

〈カードゲーム〉

人間関係を深めるためのゲームです。私たちは、人との関係性の中で生きています。コミュニケーションでは、「話す側」と「受取り側」の意思疎通が必要です。相手の話を聞く、相手の話を聞いて答える、やりとりをゲームを通して学びます。



「トーキングゲーム」

カードを切って裏返し、順番にカードを引き、質問に答えます。カードに書かれた質問に答えているときは、他の人は話をせず聞きます。



「すきな のどっち?」

特別支援学校の先生が考案したゲームです。カードに描かれた2枚の絵を見て、「すきなもの」を答えたり、その理由を話したりします。



「たすけ合い体感ゲーム」

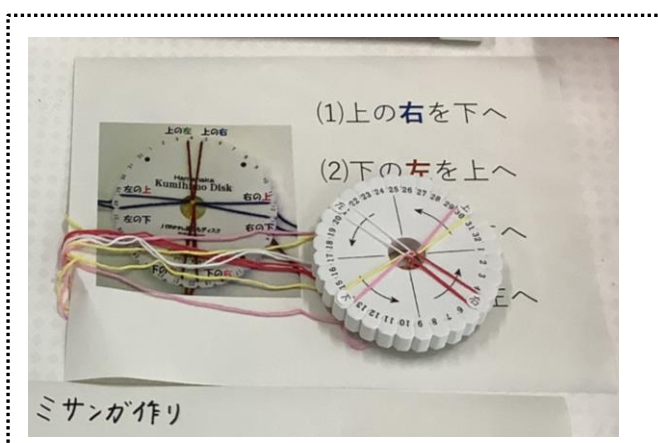
困ったときに、助けを求める力を育むゲームです。困った出来事とそこに役立つ道具をマッチングするシンプルなルールです。「助けてもらう」「助けてあげる」「お礼を言う」「お礼を言われる」経験を積むことで、レジリエンス(逆境や困難に直面した時に、それを乗り越えて適応していく力)が育ちます。

〈組みひも〉

手指の巧ち性をねらっています。巧ち性とは、手先や指先を上手に使う能力をさし、教育において重要な要素です。例えば、ものを切る、貼る、結ぶ、折る、塗る、巻く、丸めるなどの動作があります。制作手順は、円盤上の数字を手掛かりに、反時計回りにひもをかけていきます。

手指を動かしていると落ち着くことはありませんか。また、作ったものを人にプレゼントして喜んでもらえる経験は、人間関係を豊かにします。好きなことや趣味、余暇につながるものが見付かるとよいですね。

「学校で使用している手順表」

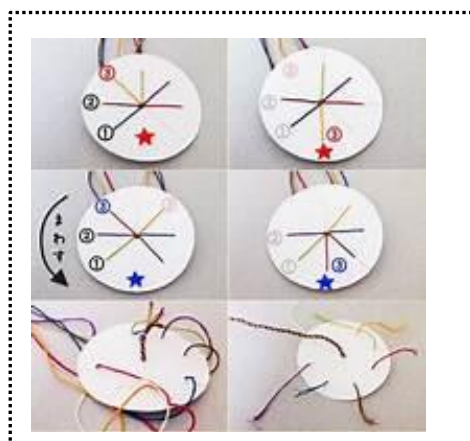
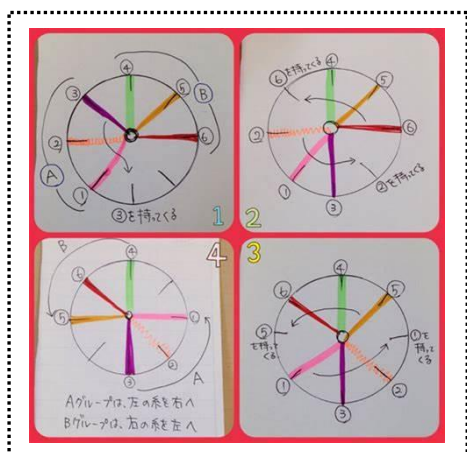


ハマナカ株式会社（製品）

「組みひもディスク&ミサンガディスク」



その他にも、図や写真で手順を示す方法もあります。一人一人個性が違うように、手順の理解や習得状況も異なります。個に応じた分かりやすい方法、「できた！」と達成感を味わうことができるよう教材・教具を工夫しながら、学習しています。



電話相談 月曜日～金曜日 9:00～17:00 来校相談 月曜日～金曜日 9:00～17:00

※日程や時間帯は調整させていただきます。
※相談の費用は無料です。相談内容についての秘密は厳守します。

お電話で『教育相談』とお伝えください。TEL：0765-54-1288
教育相談部担当教頭：中林（なかばやし）、教育相談部主任：瀬川（せがわ）

